

# 図書館だより

開館時間(共通) 9時～17時30分  
 中央図書館 ☎ 0558-76-5566  
 葦山図書館 ☎ 055-949-8605  
 URL <http://www.izunokuni.library-town.com/>



## 今月のおすすめ

一般

【中央】  
【葦山】



**それでも旅に出るカフェ**  
 近藤史恵／著  
 双葉社

店主の円が海外で出会った珍しいスイーツが名物のカフェ・ルーズ。コロナ禍に負けじと営業する店に集まるのは事情を抱えた客たち。おいしいコージミステリ第2弾。

一般

【中央】



**おでかけ俳句**  
 辻桃子、如月真菜／著  
 主婦の友社

机の上で俳句作法の本を読むより、まずは一歩、家の外にでて実践してみませんか。周りの景色を見て、思いついた言葉を書き留めておくことで毎日が新鮮になるはず。

一般

【葦山】



**子どもと一緒に覚えたい野菜の名前**  
 稲垣栄洋／監修  
 マイルスタップ

日ごろから食卓に並ぶ野菜にどんな花が咲くか知っていますか？レンコンの穴はほとんどが同じ数です。何個？エンドウは4つの名前を持つ豆です。全てわかりますか？

児童

【葦山】



**教室を生きのびる政治学**  
 岡田憲治／著  
 晶文社

かみ合わない学級会、むりやり感あふれる過半数ルール、トンデモ校則、不平等などなど。学校生活のモヤモヤを政治学から読み解き、社会生活をくぐりぬけていこう。

## 新着本コーナーから

- 一般 27000冊ガーデン 大崎梢／著【中央・葦山】
- 一般 華ざかりの三重奏 坂井希久子／著【中央・葦山】
- 一般 赤い月の香り 千早茜／著【中央・葦山】
- 一般 街とその不確かな壁 村上春樹／著【中央・葦山】
- 一般 花ざかりを待たず 乾ルカ／著【葦山】
- 一般 ぼんぼん彩句 宮部みゆき／著【中央】
- 児童 かくれねこ おかしのまち Shimizu／さく【中央】

## 7月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	③	4	5	6	7	⑧
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑰	18	19	20	21	22
23	⑳	25	26	27	28	29
30	31					

○ 中央休館日 □ 葦山休館日  
 ◇ 両館休館日 ☆ おはなし会

## 7月のおはなし会

- ・中央図書館 8日(土) 11時～
- ・葦山図書館 22日(土) 11時～
- ・くぬぎ会館子ども広場  
20日(木) 10時10分～

※事前申し込み不要

## お知らせ

### 課題図書コーナーあります

中央・葦山各図書館に読書感想文の課題図書コーナーを設けています。

設置期間／  
7月1日(土)～8月31日(木)

課題図書は利用が多いため、期間中の貸し出しは、1人1回1冊まで、期間は1週間とさせていただきます。

多くの方が利用できるよう、ご協力をお願いします。

# 文化財通信

その217

変わりゆくもの・変わらないもの  
 - 温泉地、伊豆の国市 -

文化財課 ☎ 055-948-1428

伊豆の国市は温泉地として数多くの旅行者に親しまれてきました。中でも古奈温泉・長岡温泉・大仁温泉がよく知られています。では、伊豆の国市が温泉地として知られるようになったのはいつ頃からでしょうか。

古奈温泉は市内で最も古い歴史を持つ温泉です。『吾妻鏡』の嘉禎2年(1236)4月8日の記事に「伊豆国小名(古奈温泉)」という記載があるため、鎌倉時代には既に温泉地であったことがわかります。

古奈温泉は湯治場として人々の病氣やけがを癒してきました。江戸時代後期の地誌『増訂豆州志稿』にも、にぎわっていた様子が書かれています。庶民の旅行者も訪れていたようですが、そのほとんどは駿河国と伊豆国の北部からの地元客でした。

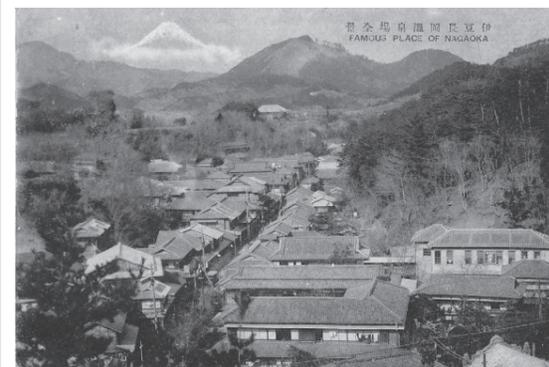
長岡温泉は明治40年に開発された比較的新しい温泉地です。もともとは田畑が広がる農村でしたが、田の一角に湯気が上がっていたといえます。当時の川西村字長岡は源泉開発の取締規則の適用範囲外であり、土地所有者たちが自由に掘削することができました。しかし、過度の開発

は源泉の枯渇や湧出量の減少を引き起こします。そこで規約を定めて温泉の集中管理を行うことになり、現在も適切に管理されています。

古奈温泉と長岡温泉はその後も多くの旅行者を集め、大正時代にはさまざまな娯楽が楽しめる温泉街として発展しました。弓場、釣り堀、クレー射撃場、野球場、競馬場などが設けられ、訪れる政治家や軍人、実業家を楽しませました。戦後、昭和37年には観光協会や旅館経営者の尽力により葛城山に伊豆長岡ロープウェイ(現在の伊豆パノラマパークロープウェイ)が運行を開始します。

大仁温泉は昭和初期、大仁金山の採掘中に発見された温泉です。昭和11年に現在の伊豆市瓜生野で高温の源泉が噴出したことで注目され、昭和23年に大仁地区の関係者によって行われた試掘でも源泉を発見しました。大仁駅前の大仁商店街を中心に温泉旅館が10軒ほど建てられ、昭和32年には大仁神社が第12回国民体育大会の相撲会場になるなど発展を遂げました。

その後、昭和33年の狩野川台風で



▲大正時代の長岡温泉

大きな被害を受けますが、復興の聲の高まりもあり、2年後には大仁の温泉を大仁町で管理運営することが町議会で決められました。(現在は大仁温泉事業協同組合が管理運営)その他にも、函南町との境にあり、ぬる湯で知られる畑毛温泉は、鎌倉時代頃の伝説が残る古い湯治場で、環境省に指定された国民保養温泉地です。また、伊豆長岡駅周辺には葦山温泉もあります。

伊豆の国市の温泉は、湯治から娯楽まで時代に合わせて形態を変え、現在も人々を癒し続けています。